

会議録

審 議 会 名	第 1 回 杉戸町生涯学習審議会
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 22 日（水）午前 10 時～午前 11 時 40 分
開 催 場 所	杉戸町生涯学習センター（カルスタすぎと）集会室 1， 2
会 議 の 議 題	(1) 杉戸町生涯学習推進計画報告シート(案)について (2) 指定管理後のカルスタすぎとについて (3) その他
公開・非公開の別	公開 ・ ~~非公開~~ （公開の場合傍聴者数 0 人）
	（非公開の場合理由）
出 席 者 氏 名	【出席委員】 小山裕之、高瀬信子、大塚国夫、齊田壮市、寺田竹雄、青木光一、根本伸、稲田惇一、伊藤馨、岩本明美 【欠席委員】 田口剛、富澤義之、浅井宰、大塚信英、齋藤伸夫

審議の概要

議題（1）杉戸町生涯学習推進計画報告シート(案)について

資料 1に基づき事務局より説明。会長より補足説明あり。

【意見・質疑等】

（委 員）杉戸町生涯学習推進計画報告シート(案)の各課報告（3 ページ～12 ページ）「対象者」欄の「成人」について、「20 歳～59 歳」としているが、現在、成人は 18 歳からとされている。なぜ 20 歳からとしたのか。

（事務局）法律上の一部の行為は 18 歳からとなったが、慣例上の認識では 20 歳以上を成人と取り扱っている場も多い。2 年の差が結果に大きく影響を与えることはないと思われることから、対象者欄の「成人」は 20 歳からとさせていただきたい。

議題（2）指定管理後のカルスタすぎとについて

資料 2に基づき TRC カルチャーパートナーズ(以下「TRC」)より説明。

【質疑・意見等】

（委 員）杉戸町では、毎年 10 月に公民館で文化祭を行っているが、それに対し、指定管理者としてかかわることは考えているのか。

（T R C）指定管理者として、町の事業の現場を確認し、どのような連携が必要か検討していく。

- なお、指定管理者としては、カルスタにおいて生涯学習活動の成果発表会を 12 月頃に予定している。将来的には、10 月の文化祭と足並みを揃えていくことも検討する。
- (委員意見) 文化祭は、公民館の文化祭と思われているが、本来は杉戸町全体の文化祭と考えてもらいたい。新しい指定管理者として、一般町民が広く参加できる「町の文化祭」として盛り上げる視点を持って町と協力してもらいたい。
- (委員) 絵画の成果発表として町展があるが、役員の高齢化や作品出点数の減により、今後の継続が困難と関係者から聞いた。そういった場を設けてもらえないか。
- (T R C) 生涯学習の成果発表会を予定しており、そういった場に繋げていくことを検討したい。
- (委員) 生涯学習の講座等について、対象者が高齢者のものが少ないと感じる。スマホ等を使えない高齢者も多いことから、高齢者向けのスマホ教室等を行ってもらえないか。
- (T R C) 指定管理となる以前から、「町民パソコン講座」(4 回 3,000 円)を行っており、その中でスマホ教室等を行っている。その他の高齢者向け講座等については今後検討したい。
- (委員) 令和 12 年度の図書館の一人当たりの貸出冊数目標値が「6.6 冊」となっているが、今後の対応を聞かせていただきたい。
- (T R C) 理想としては貸出件数の右肩上がりを目指しているが、現状は、年々右肩下がりである。これは、杉戸町だけではなく、全国的にそういった状況であるが、それを覆すために、まず、図書館に足を運んでもらうための施策・工夫を重ね、数値を伸ばしていきたいと考えている。
- (委員) 資料にあるミストシャワーの稼働はいつを予定しているのか。
- (T R C) 現在、水道等の調査を行っているが、夏中には稼働したいと考えている。
- (委員) 和室は以前、最も稼働率が低かったと聞いているが、座椅子を入れたことにより上がったか。
- (T R C) 現状では、まだはっきりと上がったとは出ていない。
- (委員) ココティすぎとが発行しているような情報誌やリーフレットをカルスタでは発行しないのか。
- (T R C) これまで「図書館」と「生涯学習センター」で情報が縦割りになっていたため、後は両方の情報を集約した一体型の情報誌を毎月発行する方向で検討・進めていく。
- (委員) 施設まつりについて、どういう内容でどういう風にやられるかということについてお聞きしたい。

(T R C) 施設まつりについて、成果発表の場として12月の土日2日間、ホールやギャラリー等の施設全体を活用し、利用団体の発表やパネル展示等を行う予定である。その他にカルスタとしては、今年度は年83回の事業を開催予定している。

(委 員) 仕様書にサークル指導者育成と活動支援の関係を挙げているが、それについて具体的に教えてもらいたい。

(T R C) 指導者育成・活動支援団体向けに広報物作成ツール「Canva (キャンバ)」を活用したチラシ作り講座(10月予定)や、事前段階としての写真撮影講座(9月予定)を企画・実施している。

(委 員) 学校の授業で使用するために図書館の資料を貸出できるようにしてほしい。学校側からの依頼を待つのではなく、積極的に関わってほしい。

(T R C) 指定管理以前から、「学校調べ学習用」と「レファレンス依頼貸出」があり、依頼に応じて、資料調査や貸し出しを行っている。資料一覧も各学校に配布し、年1回校長会で説明をしていた。指定管理後も引き続き行っていくこととなっているが、運用等については、適時学校側と調整していく。

(委 員) 開催する講座の継続性や今後の展開について説明してもらいたい。

(T R C) 定例の工作教室や健康系講座は継続しつつ、世情に合わせたテーマ(スマホトラブル等)は柔軟に更新しながら、年間83回以上の講座・イベントを計画・実施していく。

(委 員) 防災講座は単独開催とのことであるが、町との連携状況をお聞きしたい。

(T R C) 今回は指定管理者側での初歩的な講座企画となるが、町と情報は共有しており、今後は町の防災組織や危機管理課との連携を深め、内容を強化していく。

議題(3) その他

(委 員) アンケートについて、回答者に高齢者が多いことを踏まえ、文字フォントを明朝体から見やすいゴシック体へ変更することを検討してもらいたい。

(事務局) 提示用として見本を数種類作成し、次回会議時に検討していただく。

(委員意見) カルスタすぎとは各地域の公民館とは異なり、杉戸町全体の「総合文化センター」という重要な位置づけであると考えている。

新体制のもと、一層活発な施設となるよう期待している。